

■ロシア：2011年1月から100W以上の白熱電球の製造、販売が禁止

ロシアでは2011年1月から100W以上の白熱電球の製造および販売が禁止される。国民には、省エネ型蛍光灯の使用が推奨されている。しかし、省エネ型蛍光灯は一般の白熱球の10倍以上の値段がついており、国民に大きな負担を強いることになる。白熱電球の流通の制限は、2009年11月に制定された省エネ法によっており、同法は、さらに75W以上の白熱電球については2013年、25Wについては2014年までにそれぞれ製造、販売を中止するよう勧告している。また連邦政府には使用済み蛍光灯の廃棄規則を制定するよう義務づけている。一方、経済発展相は、コンパクトな蛍光灯から更に寿命が長いLEDへの切り替えが今後のもう一つの課題と指摘し、更なる省エネの促進を呼びかけている。省エネ型電灯の利用は、EUに倣ったものであるが、大統領は、この新たな取り組みをよりエネルギー効率的な経済の実現というロシアの戦略目標を達成するための一歩にしなければならない、としている。